

ボラコミ
2022年
4・5月号

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会
おおた地域共生ボランティアセンター

— 出逢い、つながり、広がる 笑顔 —



ボランティアコミュニケーション



今号のトピックス

コロナ禍で感じた人とつながる大切さ
～ ボランティアによる訪問活動 ～

問合せ先

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会
おおた地域共生ボランティアセンター
TEL.03-3736-5555 FAX.03-3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2大田区社会福祉センター5F
開所日時：(月)～(土) 8：45～17：15《祝日・年末年始を除く》
メール：voc@ota-shakyo.jp



新着情報はホームページ
<https://www.ota-shakyo.jp>

活動状況はTwitterに
https://twitter.com/ota_shakyo



ボランティアコミュニケーション配置ご協力ありがとうございます
「ボランティアコミュニケーション」は偶数月に発行しています。掲載は無料です。



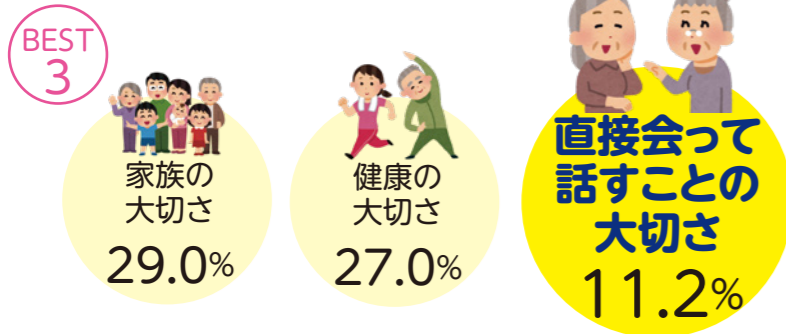
コロナ禍で感じた人とつながる大切さ ～ボランティアによる訪問活動～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3密の回避や、ソーシャルディスタンス等、人と人の物理的な距離を保つ方針が示されたことにより、地域における人とのつながりやふれあう機会が減少しています。『人とのつながりの大切さ』を皆さんも感じていませんか？

コロナ禍で浮かび上がった「人とつながる」ことのデータを紹介します

コロナ禍で、『直接会って話すことの大切さ』を多くの方が実感。

「コロナ禍で、最も大切だと気付いたこと」に関する意識調査が行われ、全体の11%の方が、「直接会って話すことの大切さ」と回答。



コロナ前より「人とのつながりを大切にしたい」保護者が8割以上に

幼児のいるご家庭に、「コロナ前よりも人とのつながりを大切にしようと思うようになったか」とたずねたところ、「とてもそうである」37.7%、「まあそうである」45.0%と、全体の8割以上の保護者がYESと回答しました。

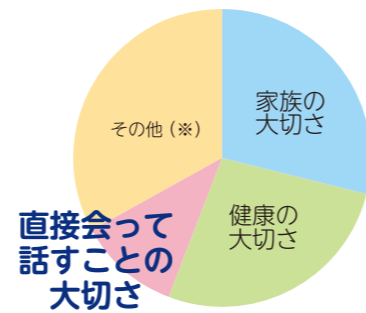
外出自粛によって、お子様が園に通えない、親子ともに地域の人との関りを失うなど、不安や孤立が生じやすかった生活の中で、改めて人との支え合いやつながりの大切さを実感した保護者が多いようです。

人とのつながりが子育てに与える影響とは？

子育てについて気軽に話したり相談できる「人とのつながり」が少ない保護者よりも、つながりの多い保護者のほうが子育てを「楽しい」と感じ、「子どもがうまく育っているか不安になる」ことも少ないようです。自分の困りごとやつらさを、言葉にして誰かに受け止めてもらうことで不安が和らいだり、気分転換になることがよくあります。子育てにおける人とのつながりの大切さを、コロナ禍で改めて実感した方の多さがアンケート結果から伝わります。



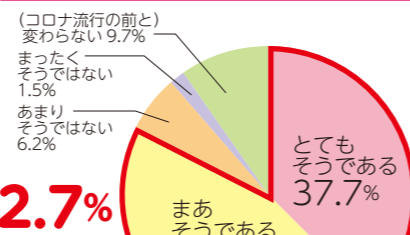
新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、最も大切だと気づいたこと



(※) 旅行やお出かけ・趣味・友達・仕事・飲食を楽しむ・雑談や何気ない会話・特になし・その他

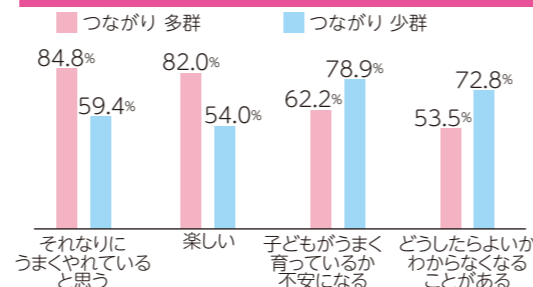
調査概要
データ集計期間：2020年8月26日～8月27日
調査対象者：全国15歳～79歳の男女
有効回答数：1,000名（男女各500名/各年代200名）
出典元：株式会社ジェーシービー

人とのつながりを大切にしたい



調査概要
データ集計期間：2020年5月22日～24日
出典元：ベネッセ教育総合研究所
ベネッセ教育総合研究所 幼児・小学生の生活に対する新型コロナウイルス感染症の影響調査 2020年

子育てに向き合う気持ち (子育てを通じた人とのつながり別)



調査概要
データ集計期間：2020年5月22日～24日
出典元：ベネッセ教育総合研究所
ベネッセ教育総合研究所 幼児・小学生の生活に対する新型コロナウイルス感染症の影響調査 2020年

コロナ禍でも継続した「人とのつながり」を紹介します

子育て奮闘中のご家庭に「笑顔」と「食料」を届けてみんな元気に！
ほほえみごはん

主な内容 2週間に1回程度、食料を0～18歳の子どもがいる子育て世帯に玄関先まで直接お届けします

活動時間 月～土曜日 9時～19時
1回あたりの訪問時間は、5～10分程度



ほほえみごはんの活動の様子



訪問の際にお渡しするメッセージカード



訪問の際にお渡しする食料

活動を通して

- お子さんから「寒い中ありがとうございます!気を付けてお帰りくださいね」と声をかけてもらうと心強く、こちらが頑張ろうという気持ちになります。
- お子さんが玄関先までダッシュしてきて、お菓子を喜んでくれると、それだけで元気をもらえます。
- ほほえみごはんの活動がなかったら出会うことのない外国籍の方に出会い、他国の文化を知ることができ、毎回とても楽しいです。食文化やお正月の過ごし方など、初めて知ることが多いです。

高齢者の方とあいさつや会話でお互い元気に！
ほほえみ訪問

主な内容 65歳以上の高齢者宅を、月1～2回程度訪問
活動時間 月～金曜日 9時～17時
1回あたりの訪問時間は、5～10分程度



ほほえみ訪問の活動の様子

活動を通して

- コロナ禍でも月2回活動できる場所があったので、自分自身の健康を維持することができました。人に会って話をするのは、自分にとっても大切なことだと思います。
- 私が訪問している方は、毎日ジョギングしている方もいらして、元気をもらいます。
- 100歳近くでお元気に過ごされている方から、健康の秘訣を毎回教わっています。自分より年上でお元気な方から、学ぶことがとても多いです。



大田社協は、人とつながる機会をこれからも作ります。



令和4年度

地域福祉活動団体支援事業 及び 『つどいの場』運営支援事業 募集のご案内



大田社協では、「歳末たすけあい・地域ふれあい募金」を活用して、地域福祉活動に取り組む団体を対象に、地域をより良くするための活動を広く支援していく事業を行っています。



令和4年度 活動団体

募集!

	地域福祉活動団体支援事業			『つどいの場』支援事業	
	①通年事業助成	②イベント助成	③トライアル助成	『つどいの場』活動助成	『つどいの場』保険
目的	年間通じた地域福祉活動の経費を助成。	地域福祉の推進を目的として開催するイベント経費を助成。	地域福祉推進を目的とした団体を新たに立ち上げる際の経費を助成。	身近な場所で継続的に行う住民主体の『つどいの場』の活動経費を助成。	住民主体の『つどいの場』の活動を安全に実施できるよう支援。
内容	年度10万円以内の助成		年度20万円以内の助成	月1～3回活動 年度3万円以内 月4回以上活動 年度5万円以内	サロン保険代を社協が負担
募集期間	令和4年4月6日(水)～4月28日(木)			令和4年3月1日(火)～随時	

地域のための活動を自分のスタイルで、長く続けていきたい方にピッタリの助成事業です。

通年事業助成
年間通じた活動をやりたい!

イベント助成
地域で子育て世代を集めたイベントをやりたい!

トライアル助成
自分と同じお母さん達が参加できる新しい活動をやりたい!

『つどいの場』運営支援事業
仲間で週一回集まって、健康教室を開きたい!

- 申請書類は HP からダウンロード又は窓口で入手してください。
- 詳細は HP または、お電話にてお問合せください。



地域福祉コーディネーターからの活動紹介

「なんでも相談窓口」

PANEの会(カトリック大森教会)では月に1回、フードパントリーを開催しています。会場では、困りごとがあっても相談に来られない方や、どこに相談したらよいか分からないという方に対して必要なサービスや情報を届けることを目的に、地域福祉コーディネーターによる「なんでも相談窓口」を設置しています。定期的に窓口を開設していることが、コーディネーターを知っていただく機会となり、相談して下さる方が増えてきています。このような活動を通し、区民に寄り添った相談支援を心がけ、困りごとの早期発見・解決を目指していきます。



通年事業助成 「Office.T.B.T ワークショップ『へいへいと遊ぼう!』」

助成をいただくことで、YouTubeで動画を公開するという新しい挑戦をさせていただくことができました! 地域の方を中心としながらも、全国の様々な方に活動を見ていただき、協力して下さる方も増えました。今後はコロナの感染状況にもよりますが、読み聞かせの活動と動画作成の活動の2つの良いところを組み合わせ、子どもと保護者に寄り添える活動を続けていきたいと考えています。



「ボイスドラマプロジェクト Jizai」の動画例



【現役声優がアニメ作ってみた】
『伝えてくれ』

『ボラセンガイド』ができました!

ボランティアセンターでは、その人らしいボランティアのカタチを提案しています。ボランティアに対して興味・関心をもたれた方へボラセンガイドを窓口で直接お渡ししています。お手にとってご覧になってください。まずは、できることから始めませんか?



地域の皆さんのための 車いすステーション事業



車いすステーションは、大田社協で行っている
車いすの貸出をより身近な地域で利用できるよう、
地域の方と協働で運営を行っています。

ボラセンでは区内の様々な団体、企業、施設のご協力を得て、
地域の皆さんに無償で車いすを貸し出しています。



↑車いすステーション一覧

貸出対象
区内にお住まいで、
短時間または緊急に車いすが必要な方

- 障がいの有無や年齢は問いません。
- 貸出の際は、本人確認が取れるものをご提示ください。
- 申請者は利用者でなくてもかまいません。

貸出期間 最長1か月間

貸し出しについて

- 車いすの受け渡しは、原則ステーションで行います。
- ご利用前に、事前にステーションへ空き状況をご確認ください。

ご協力いただける団体・施設を募集しています!



山王リハビリクリニック ウェルネスジム山王 有限会社ベストフレンド

大田区の ボランティアさん募集

あなたにも できることが きっとみつける!

活動を希望される方は、
各施設へ直接電話で
お問い合わせください。

【日】活動日時 【住】住所・活動場所 【募】募集人数・対象 【食】屋食の提供 【交】交通費 【問】問合先 【担】担当者 ※新型コロナの状況により、情報が変更することがありますので、お電話でご確認ください。

高齢者の方との活動

短時間型・機能訓練対応のデイサービスです。

1 お茶出し、衣服の配布、簡単なデータ入力、
備品の消毒・掃除など、利用者が心身共に
元気になっていただくお手伝いをします。

【日】毎週 月～金
9:00～12:30/13:00～17:30 都合の良い時

2 施設前の交通誘導、および感染予防器具等の消毒
作業など、安全を守るお手伝いをお願いします。

【日】毎週 月～金 いずれかの時間帯(①8:15～9:30、
②11:15～12:30、③13:15～14:30、④16:15～17:20)

【住】山王3-45-3 山王ヒルズ1階 JR大森駅 徒歩15分
【募】男女不問(高校生可) 【交】一律1,000円
【問】山王リハビリステーション ☎03-3772-5122
【担】さとう・もり・かねこ

「かもめホーム」は、介護の必要な方向けの住宅型有料老人ホームです。定員は5名です。一緒に手芸や作品を作ったり、洗たくものをたたみ、お茶出しをしてくださる方を探しています。

【日】毎週月～金 10:00～13:00
どこか1日でも、3時間くらい、応相談。

【住】大森西5-12-15 京急大森駅より徒歩1分
【募】男女不問 【交】実費負担
【問】かもめホーム ☎03-5767-9229 【担】よこやま・なかの

障がい児との活動

「児童ディパーチェ」は、放課後等デイサービスで、知的障がいや発達障がいのあるお子さんを放課後や学校休みの日にお預かりし療育します。

1 指導員の補助…レクリエーション活動や遊びを通して
子どもたちに関するボランティア

2 様々なパフォーマンス(大道芸、楽器演奏、
人形劇など)をしてくださる方

【日】継続で、日時や回数などは応相談
【募】①②とも1～2名(男女不問、高校生可)
【住】大森東1-35コーシャハイム大森東4-108
(平和島駅より徒歩約10分)
【問】児童ディパーチェ ☎03-6404-8391 【担】まるふじ

放課後等デイサービス「はるはうすkids」では、
外遊びや宿題など元気な子どもたちと遊んで
いただける方を募集しています。

【日】毎週土曜日 10:00～16:30
【夏休み】7月19日～8月31日(10:00～16:30)の期間で応相談。
【住】東六郷2-9-16(京急雑色駅徒歩2分)
【募】4名(男女不問)(お昼代500円まで支給)
【問】はるはうすkids ☎03-6715-7366 【担】あさの・さとう
Email:haruhousekd@gmail.com

こども

特定非営利活動法人Café de 寺子屋は全国の大学生からなる学生団体です。Caféの空き時間をお借りして子どもたちの自学自習を支援する寺子屋を開いています。東京支部「寺子屋もなり」では子どもの人数増加に伴い、大学生メンバーを募集します。

【日】毎週金曜日 16:30～18:30
【住】上池台1-13-4関口ビル1Fもなりざ邸(長原駅徒歩1分)
【募】大学生・院生のみ、男女不問 【交】なし
【問】Email:cafede.terakoya.tokyo@gmail.com 【担】みどりかわ
URL: https://cafe-de-terakoya.or.jp/

冒険遊び場(プレーパーク)活動で、子どもたちの遊びの見守り・準備や片付け・運営のサポートなど。

【日】毎週水曜日14:00～17:00
【住】中央5-14-1 都営浅草線 西馬込駅より徒歩15分
【募】10名 男女不問(高校生可) 【交】なし
【問】もつと遊べる五丁目公園の会 ☎03-3775-3791 【担】まつだ

地域

チャリティー清掃活動への参加者募集!参加費
1,000円(大人のみ)で、半額は地域の子どものため、半額は海外の子どもたちへの寄付となります。

【日】毎月最終日曜日 9:00～10:00の間
【集合】京急線 雑色駅前(10分前に受付) 【清掃場所】雑色駅周辺
【参加費】1,000円(現地払い) 【持ち物】軍手
【問】ヒラソル hirasoltv@gmail.com ☎080-1347-7706 【担】おなが

2022年度 東邦大学医学部模擬患者さん募集

～患者さんの立場を理解できるお医者さんを育てるために～
医学生とのコミュニケーション教育にご協力いただける
模擬患者(SP)ボランティアを募集します。

募集要項
・20歳以上、70歳未満の方(2022年4月1日現在)・本学主催のSP養成講座(5/26・6/2・6/6・6/17・6/27・7/4、毎回13:30～16:30)に5回以上参加できる方・模擬患者の意義を理解し、東邦大学の学生の教育にご協力いただける方・連絡のためのメールが使える方・zoomを用いたオンライン講習を受講できる方(自信がない方はご相談ください)・原則として医療関係者以外の方を希望

応募方法
①メールで申し込む(件名を「SP養成講座 参加希望」とし、本文中に「名前・フリガナ・性別・年齢・電話番号」を記入する)。
E-mail:sp@med.toho-u.ac.jp 締切:2022年5月14日(土)
②返信を受け取る(1週間以内に返信いたします)
③参加登録終了

募集人数 20名(男女不問・高校生不可)
実施場所 東邦大学医学部 大森西5-21-16
京浜東北線 蒲田駅(大森駅行きバス)(バス停)東邦大学 徒歩3分、
京急行線 梅屋敷駅 徒歩8分

問合せ 東邦大学医学部医学教育センターSP研究会
☎03-3762-4151内線2707

ボランティア活動を始めるなら… ボランティア保険への加入を!

ボランティア保険は国内でのボランティア活動中の偶発的な事故によるケガや、他人に対する損害を補償する保険です。

保険期間 加入日の翌日から令和5年3月31日まで
(郵送での申し込みはできません)

ボランティア保険の補償内容が改定されました。
保険料は変更ありません。

令和4年度 行事保険 国内において、福祉活動や参加対応型ボランティア活動などを目的として、または市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事参加中に①行事参加者が偶然な事故でケガをした場合の傷害補償、②主催者側の過失により、損害賠償責任を負った場合の賠償責任補償がセットされた保険です。
なお、子ども食堂等、事前に人数の確定が難しい行事を対象とした「行事保険(当日参加対応型)」もあります。

行事保険料が変更されました。

プラン 1日行事保険料 (1名・1日あたり)

1日行事保険 (1名・1日あたり)	a行事	33円	43円	62円
	b行事	129円	181円	271円
	c行事	250円	354円	534円

※色付き部分が昨年からの変更点です。

<令和4年度ボランティア保険プラン>

補償内容	プラン	A	B	C	天災A	天災B	天災C
死亡保険金額		13,000千円	20,000千円	27,000千円	13,000千円	27,000千円	36,500千円
後遺障害保険金額		後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の100%～42%					
入院保険金日額		8,000円	9,000円	14,000円	8,000円	9,000円	14,000円
通院保険金日額		3,000円	5,000円	7,000円	3,000円	5,000円	7,000円
手術保険金		入院中に受けた手術の場合：入院保険日額の10倍 それ以外の手術の場合：入院保険日額の5倍					
特定感染症特約		後遺障害・入院保険金額に同じ					
葬祭費用保険金		300万円限度					
熱中症危険補償		全プランで対象					
天災危険補償		×		○ (地震・噴火・津波によるケガも補償します)			
賠償責任補償	身体傷害・財物損壊共通 人格権侵害	1事故につき(支払い限度額) 5億円					
1名あたりの年間保険料		350	500	700	600	1,000	1,400

※色付き部分が昨年からの変更点です。

申込方法 おおた地域共生ボランティアセンター窓口へ来所 ※詳細は、大田社協ホームページまたは窓口配付のパンフレットでご確認ください。

ちょっと気になる団体紹介



ボランティア スポット



ヒラソル

参加費 1,000 円のチャリティー清掃活動

「ヒラソル」は、スペイン語でヒマワリのこと、「未来を担う子どもたち、お母さんの笑顔を増やしたい!」と昨年始まりました。「お金払ってお掃除するなんてと思われるかもしれないけど、これがもう楽しいのよね。」と笑うのは、代表の翁長久美子さん。

昨夏、家族4人で新宿で行われた清掃活動に参加してみたら、楽しくて子どもたちももっとやりたいというので、大田でも清掃活動をするようになりました。これは、Earth Friendship



1月30日の清掃活動には大勢参加しました!

Festival (アース・フレンドシップ・フェスティバル) 実行委員会が毎月最終日曜日に全国各地で行っているもので、東京では新宿と大田の2か所で行われています。

この清掃活動に参加する大人は1回 1,000 円の参加費を払います。集まった寄付の半額は海外の子どもたちへ、半額は地域の子どものために使われます。

ヒラソルでは、集まった寄付の半額を使って、翌月に「フードロスを考えるクッキング」や「はじめてのお茶体験」などの企画を実施しています。子どもたちには、やったことのないことをたくさん体験してほしい、みんながハッピーになってほしいとの願いからです。

ヒラソルは、翁長ファミリーから始まり、職場の仲間が加わって活動の中心を担っていますが、リピーターも増え20人前後は集まっています。清掃活動には、毎月の最終日曜日の朝、軍手を持って誰でも参加できます。



はじめて記念日カレークッキングに挑戦

問合せ ヒラソル Email : hirasolvtv@gmail.com ☎080-1347-7706

ボランティアグループしおん (シオン・キリスト教会有志)

蒲田地域を拠点として2021年12月～活動を開始し、現在は偶数月第一土曜日に生活にお困りの方に対してのフードパントリー活動を行っています。代表の山口さんは、自身の所属する教会を拠点として、地域の不登校のこども達と楽しく遊べる居場所をつくりたいと長年考えていました。自身の退職を機にこども食堂からスタートをしようと思いましたが、コロナ禍ですぐに実施することは難しく、食品配布(フードパントリー)から始められました。



山口さんは、「実際に活動していく中でこの地域には子育て世帯が多く、そのうち大変な生活をされている方も多いたことが見えてきました。それと同時に、地域のあたたかい気持ちが毎回寄付品(フードドライブ)・手紙・メールから感じられ、

それが励みとなり、その気持ちをお届けする仲介者になりたい」との思いを持たれています。さらに「教会は弱さのある人々の必要に応える(仕える)ことが期待されている」という牧師のお話をもとに活動されています。

ボランティアグループしおんは、「子どもだけではなく、地域の方々がふらっとシオン館に立ち寄って世間話や遊びにきてくれるような拠点(居場所)」を目指しています。お困りの方がいらっしやいましたら、ご案内ください。皆さまのご協力をお願いいたします。



問合せ ボランティアグループしおん (シオン・キリスト教会内) ☎03-3731-5939 (時間:10:30~17:00)

特技ボランティアさんご紹介

問合せ

おおた地域共生ボランティアセンター

二胡演奏

二胡カンタービレ

私たちは、2011年より『歌うように＝カンタービレ』をモットーに、中国民族楽器・二胡でボランティア演奏を行っています。今はコロナ禍でボランティア演奏もほとんどなく、もどかしい日常となってしまいましたが、生の音楽は安らぎや癒しを与えてくれるかと思ってお話をしています。



防災の知恵を宅配

阿部 慶一さん

私は消防士として長年防災講演をしてきましたが、その場でうなずいても実際に行動を起こす人はまれです。自分だけは大丈夫と考えているのです。

そこでご要望に応じて、防災についてお話をし、避難所に行くことが難しい一人暮らしや高齢の方には、家の中で安全に備える方法を一緒に考えます。お気軽にお声がけください。

